

令和6年度取組状況

ものづくり工学科 ロボット工学コース 教授 鈴木拓雄

取 組 状 況	
教育	ED教育におけるデザイン試行の5つのステップにおいて、①共感、②問題発見・定義、③アイデア発想を実施することができた。しかし、シラバスに記載した内容の実施時間との関係から、ED教育に充てる授業機会を増加できなかったことが課題である。また、「社会人による学生教育支援」については、前期から後期初頭にかけて外部団体と協働し、SDGsやAIの利活用といった分野での講義を実施できた。本件においては、当校側と外部講師側の人的資源の利活用を整理することが課題である。
研究	論文 Takanobu Tamiya, Kenji Gomi, Tatsuo Ochiai, Takuo Suzuki Seiichi Sugimoto, Hiroki Tomita, Yoshiyuki Shibata, Development of Cyclic Torsion Testing Machine for Superelastic Alloy Wires and Evaluation of Their High Load and Low Cycle Fatigue Properties as Flexible Shafts, 数理科学会論文集 Vol.24, No.2(P9-14) 学会発表 「35th 2024 International Symposium on Micro-NanoMechatronics and Human Science」2件 「第43回数理科学講演会, 東京電機大学鳩山キャンパス, 2024/8/21」2件
社会貢献	体験入学での「たたら製鉄」の成功率向上の方策として、担当人員の配置や当日の業務環境を向上させた。出前授業については、偏光板や圧電体等、小学生や中学生からすると不思議な性質をもつ材料を使用した内容を通して、電気や力学、またそれらの相互作用に理解が深まる内容を用意していたが、実施機会がなかった。